

札幌市における過去の校名検討の選定理由等について

1 市立札幌大通高等学校（平成 20 年 4 月開校）

- 校名案となった「札幌大通」は、札幌市の代名詞となる地名の一つであり、広く親しまれている地名を校名にすることで、誰にとってもわかりやすく、愛着が湧く名称である
- 新たにスタートする高校が、大通公園のイメージのように、高く広がる青空の下で、爽やかで広々としたまっすぐな道を進む、スケールの大きな人間を育み、多くの市民から愛される学校になってほしいとの願いを込めている

2 市立札幌開成中等教育学校（平成 27 年 4 月開校）

- 基本構想の理念に「校名や校歌の継承を含め、改編対象校の伝統を踏まえつつ、新しい学校づくりを進めていくこと」とあることを念頭において、「開成」の名称を新設校でも使用することとした。
- 「開成」の語源である「開物成務」（【かいぶつせいむ】 儒教の経典「易経」の中にある言葉。）は、学校教育における不易の部分であらわしており、新しい学校を作るうえでも支えとなる言葉になるものと考えられる。

3 市立札幌みなみの杜高等支援学校（平成 29 年 4 月開校）

- 「みなみ」は、札幌市の南区真駒内地区を示すものであるとともに、「あかるさ」や「ぬくもり」を意味し、地域の方々の「やさしさ」に包まれて、そこで学ぶ生徒に培いたいおおらかな人間性を表す。
- 「杜」は、仲間がたくさん集い、楽しい学校生活を送る緑豊かな大地の「もり」と、生徒たちが地域の方々とともに創り上げる学び舎としての「もり」の意味を併せ持つ。
- その「みなみの杜」において、一人一人の生徒が、自らの夢や目標の実現のために、自分のよさを存分に発揮して成長すること、そして、その思いを丁寧に育み、未来に向かって活躍できる人材を育成することを願う者である。

4 全国の公立夜間中学の校名について

◆ 徳島県立しらすぎ中学校（R3.4 開校予定）【県民公募⇒検討委員会⇒委員会会議】

- ・ 全県的な視点に立つ校名がふさわしい
- ・ シンプルでわかりやすい校名がよい
- ・ なるべく、他に同じ名前が用いられていないものが良い

◆ 川口市立芝西中学校陽春分校（H31.4 開校）【陽春会館に開設したため】

◆ 松戸市立第一中学校みらい分校（H31.4 開校）【委員会事務局内検討による】

◆ 尼崎市立成良中学校琴城分校（S51.4 開校）【校名の由来確認できず】

◆ 神戸市立兵庫中学校北分校（S51.4 開校）【校名の由来確認できず】

◆ 神戸市立丸山中学校西野分校（S25.1 開校）【西野幼稚園舎に開設したため】

※ 全国の 34 校のうち、29 校は設置形態が二部学級であることから、夜間中学用の名前は無い。